

連盟ニュース

305

神奈川

6

2010.6.8

2010丹沢クリーンハイク5/30 撮影：トリコシアキオ(<http://tory.com/>)

| | | |
|--|---------------------|----|
| 巻頭言 政治的混迷から脱出・登山の未来を切り開くために | 会長 中山建生 | 2 |
| 「2010丹沢クリーンハイク」速報 | クリーンハイク実行委員長 渡辺三男 | 3 |
| 第33回 2010丹沢クリーンハイク清掃集計表 | 柴笛クラブ・吉崎 | 3 |
| 2010年度丹沢クリーンハイクヤビツ地区のまとめ | ヤビツ担当 中山建生 | 4 |
| 2010年度 臨時理事会開催のお知らせ8/31 | 理事長 後藤 真一 | 5 |
| 神奈川県勤労者山岳連盟 規約規定の改正・改廃の申し立て | 会長 中山建生 | 6 |
| 沢登り講習会 | 日本勤労者山岳連盟 青年学生委員会主催 | 6 |
| 第24回谷川クリーンフェスティバル2010案内/野辺山・救急救護講習のお誘い | | 7 |
| 平成22年度安全登山普及指導者中央研修会 | | 14 |
| 神奈川から静岡へ・平和と登山の願いを込めて5/19 | 会長 中山建生 | 8 |
| 鷹取山でロープワークを経験して | 三浦昭男(川崎ハイキングクラブ) | 9 |
| 県連交流山行・佐渡島/クリーンハイク実行委員会報告 | | 10 |
| 5月事務局長会議報告 11 / 6月度常任理事会報告5/31 | | 14 |
| 神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定 | | 15 |
| 登山時報紹介 17 / 県連のスケジュール/全国会議行事予定 | | 18 |



神奈川県勤労者山岳連盟

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階

TEL/FAX 045-434-2726 <http://www.k-rouzan.net/>

発行責任者 後藤 真一

振込先 郵便局 世界貿易センター内局 #00290-9-15228

他金融機関からは 029店 当座0015228

政治的混迷から脱出・登山の未来を切り開くために

2010.5.25 会長 中山建生

一昨年の国政選挙は国民が民主党に大きな期待をかけての改革の第一歩でした。しかるに民主党政権は従前の自民・公明党の政治を引きづり、公約を守らず沖縄の米軍基地をそのままにし、経済的には貧困の格差を生み拡大したままなのです。国の政治や経済の方向を国民の利益の為に舵を切りなおす役割を果たせなかったのです。よく考えてみると無理からぬことでした。期待を寄せた私たちが甘かったとも言えます。なぜなら米軍基地をそのままにして自衛隊の海外派兵を主張する人たち、国内の兵器産業に海外に輸出をさせ外貨を稼ぎたいとする人たち、大手のゼネコンにダムや道路を作らせようとする人たち、大企業には減税して国民には増税して負担を求めるといった人たち、国民の願うスポーツの普及や文化の発展には関心を持たない人たち＝支出があつて儲からないことを知る人たちが政権の周りに群がっているからです。

表向きは国民の要求に耳を傾けるふりをしなければ支持が得られないために一見国民の要求に応えるポーズをとりました。しかし、この半年余りですっかり化けの皮が剥がれ、開き直る有様です。前回の参議院選挙で神奈川から立候補した各政党に登山者からの要求と質問をしました。まず登山の普及と発展に国は積極的な人材の養成と予算措置を組むべきであること、山岳自然の環境の保全や保護に山岳団体や登山者の意見と要求を聞き、国造りの一貫として取り組むこと、安全登山の実現の為にセミナーの開催、登山者のマナーと自覚の向上、知識と技術の習得の場を設けること、山岳地の周辺地域の林業や農業への援助と支援をすることなど神奈川の活動を通して意見をぶつけてみました。自民、公明からは回答がありませんでした。社民、共産、無所属から回答がありました。とりわけ地球温暖化の問題とも重なった時期で、丹沢の自然を守り国民の憩いの場としたいとの意見がありました。登山者の安全教育や公開登山の

実施には賛成との回答でした。国や県が責任を以てスポーツの普及に取り組むべきとの一般論には賛成でした。スポーツ政策を政党として示したのは共産党のみで、他の政党は個人の関心の範囲で異なるようです。具体的な要求をかかげて政党にその実現を働き掛けるのは私たちの責任であると考えます。現場にいる私たちが矛盾や問題点をだれよりも知っているからです。

神奈川では新日本スポーツ連盟が各団体の意見を集約して市や県に要求を示して選挙でもこれを実現する候補者と協定を結んで活動をしてきました。私も神奈川では共産党のはたの候補のスポーツ関係者の集まりで登山者の要求を伝えました。もちろん選挙はスポーツ政策に限らず政治や経済、とりわけ国民の生活に繋がる問題に対してどのような考えと解決策をもっているのかが問われます。先の5月19日には労山の旗を静岡に引き継ぐ平和行進がありました。この日、核兵器の廃絶、戦争や紛争の禁止、日本では被爆者の救済、基地の撤去など沢山の要求が示されました。私たちは直接、間接に沢山の人たちに囲まれた生活をしています。日々これを感じてはいませんが事実です。生活が安定してこそ丹沢や北アルプスに行けるのです。つい最近、私と同世代の歌声の集まりがあり、みな元気に声をだして懐かしい歌を唄っていました。その中の一曲で青春時代があり、司会者は今回は年金時代をぜひ唄いましょうと伝えました。だれもその年金時代という言葉は笑おうとしないのです。青春時代の替え歌ではなく曲としてあるようです。だから「年金時代の真ん中で・」とはならないようです。たぶん、年金では2回の山登りが1回になり淋しいなというような気がしました。政治が国民の為に良くならなければ山登りはできないのです。夏山登山の前に政治や経済、そして各党のスポーツに関する政策や意見を確かめてから投票をしましょう。

「2010丹沢クリーンハイク」速報

クリーンハイク実行委員長 渡辺三男

2010年丹沢クリーンハイクは、前夜祭から23名が参加し、アコーディオン奏者の演奏で大変盛り上がりました。クリーンハイク当日は、残念ながら前日の気象情報の降水確率が60%以上ということで林道コース以外は、中止としました。

急遽変更したにもかかわらず、林道コースには、多くの会から参加がありました。

戸川林道に31名、西山林道に23名、くぬぎ山コースや他のコースにも16名と合計で70名の参加者がありました。実行委員や救助隊のメンバーを加えると総勢約90名となりました。回収したゴミの量は131.95kgでした。

このことから、清掃活動に関わろうという参加者の意識の高さを感じるとともに、雨天時においても実施を望む会員が多いように思われます。

過去にも、何回か雨天時の実施の有無について対応を迫られる事がありましたが、今後も一般参加者を含めての実施有無の判断と、雨天時計画の検討もしたいと考えています。

今回新しく加えた不動尻コースは、地元町内会や自治体の期待も鑑みて、秋ぐらいをめどに実施を検討していきたいと思います。

第33回 2010丹沢クリーンハイク清掃集計表

柴笛クラブ・吉崎

| 清掃場所 | 会の名称 | 参加人数 | 可燃ごみ | 不燃ごみ | 合計 |
|------|---------------------|--------|------|-------|--------|
| 戸沢林道 | みずなら山の会 | 10 | 6.5 | 13.5 | 20.0 |
| | 雪童山の会 | 1 | 0.65 | 1.35 | 2.0 |
| | 横浜こぶしの会 | 7 | 4.55 | 9.45 | 14.0 |
| | 地平線の会 | 5 | 6.95 | 2.8 | 9.75 |
| | 山ブキの会 | 1 | 0.65 | 1.35 | 2.0 |
| | アルパインクラブ横浜 | 2 | 0.3 | | 0.3 |
| | 相模アルパインクラブ | 1 | 0.65 | 1.35 | 2.0 |
| | カモの会 | 4 | 2.6 | 5.4 | 8.0 |
| 西山林道 | 藤沢山の会 | 16 | 20.3 | 23.0 | 43.3 |
| | 神奈川大学ワングル部 | 5 | 1.6 | 11.4 | 13.0 |
| | 柴笛クラブ | 1 | 1.2 | | 1.2 |
| | 一般参加者 | 1 | 0.6 | | 0.6 |
| ヤビツ峠 | 川崎ハイキングクラブ 山ブキの会 | 1 1 | | 0.15 | 0.15 |
| 大倉高原 | 横浜ハイキングクラブ | 6 | 1.5 | 1.35 | 2.85 |
| くぬぎ山 | 山ゆりの会 | 8 | 1.75 | 11.05 | 12.8 |
| 総計 | | 70 | 49.8 | 82.15 | 131.95 |

2010年度丹沢クリーンハイクヤビツ地区のまとめ

2010.5.30 ヤビツ担当 中山建生

予定した30日は前日の降雨予想から南のためヤビツ地区(大山から丹沢表尾根を範囲とした)はクリーンハイク(清掃活動)を中止とした。当日中止の判定に迷って登ってくる人たちがいた場合を考えて、8時より10時までは確認の為、中山と田村(みずなら会員)、大用委員の3人がヤビツで待機をした。連絡確認のミスから2名を大倉へ移動させ、10時のバスの乗客のなかに参加者がいないことを確認して、ヤビツ地区本部を閉鎖解散として大倉へ移動した。実行委員は雨の場合、最小限の配置となし、大倉との連絡は無線となるため中継を任務とする要員を確保しないと不都合を生ずる。今回は無線のカバーを田村が担った。実行委員会の表示を明確にするため事前に腕章と旗は受け取って置くことにしたい。

今回の準備に関して気付いたことといくつかの提案をする。

通常、主催団体があり協賛団体があるときはこれらの団体から実行委員が選出されるものと理解される。実態は県連盟に所属する会から委員が送られ、クリーンハイク実行委員会として討議と意志決定をなしてきたから、実行委員会と県連盟はイコールの関係にはない。組織上から見ると実行委員会が上位にあり、県連盟は後援団体のひとつで、職務の分担を依頼され遂行に協力する関係にあったと考える。問題が生ずるのは決定が県連盟と実行委員会との二重になったり、異なった場合に最終責任をだれが取るのかという問題にぶつかる。つまり責任を持つ組織はどこかを明確にしておきたい。例えば保険加入の当事者は県連盟なのか実行委員会なのか。

素直に実態をみれば、神奈川県勤労者山岳連盟丹沢クリーンハイク実行委員会であろう。し

かし、疑問を生じた理由は活動報告書は自然保護委員会と記載、クリーンハイク参加呼び掛け文書では主催神奈川県勤労者山岳連盟と記されているのは紛らわしい。つまり、意思決定をする当事者がだれか、責任者はだれなのか不明瞭となる。協賛団体とは主催者と活動の趣旨に賛同して名前をだすことから責任を負う。協賛とは人的支援、財政的支援、所属団体での参加呼び掛けなど協賛にふさわしい活動を意味する。実行委員会としての活動を続けるのなら、初めに組織の体制を決めて役割と責任を明確にして臨みたい。加えて自然保護委活動の全国的な情報入手から各地の経験や積極的な活動の紹介、行政との連携などぜひ報告してほしい。

ヤビツ会場の集合地はイタツミ尾根をあがった所の広場に変更することを提案する。ここは50人から70人収容の広さがあり、無線はここから大倉本部と交信可能である。バス停には誘導員を置いて対応できるし、ここまでの移動は3分もかからない。この他緊急車両1台、ヤビツ会場の要員としては各業務から4から5名の委員の配置が必要。さらに大山山頂と三の塔には複数配置が望ましいため早目に人員の配置を手配するとよい。各ポイントの通過チェックと安全管理については無線が必要となる。予め実行委員ほかを緊急時の対応と通信を、また救急法の室内実習の実現を考えたい。最終日の実行委員会の席上で事故者の出た場合に警察や消防と連絡を取った人はいるかと訊ねたところ、返事はなかった。これでは机上での理解はあっても実際に速やかで有効な対応はできないだろうと思った。活動上予想される事態には事前の準備や学習をして臨みたいとするものである。



理事 各位

2010年度 臨時理事会開催のお知らせ

理事長 後藤 真一

初夏の風がさわやかに感じられる頃となりましたが、皆様におかれましてはいっそうご健勝のお慶び申し上げます。

さて、下記の様に臨時理事会を開催致しますので、万障繰り合わせの上ご参集をお願い致します。

現在の規約は現状に合わないところがあります。特に規約の第3条は今の時代にそぐわない。第6条は削除したい・・・等。文章的にもおかしな所が多いと考えています。9 / 12の定例理事会だけでは時間が足りないと考え、臨時理事会を開催致します。

記

日 時：2010年8月31日(火)
19時00分～21時00分
会 場：かながわ労働プラザ・第4会議室
(横浜市中区寿町1丁目4)
045-633-5413
石川町駅(北口)下車徒歩3分

議 題：規約改正

尚、9 / 12(日)の理事会は予定通り実施致しますので、宜しくお願い致します。



神奈川県勤労者山岳連盟 規約規定の改正・改廃の申し立て

2010.6.5 神奈川県勤労者山岳連盟

会長 中山建生

先の県連盟総会では規約上設けなくてはならない常任理事・理事の選出基準についてを提案して可決、これに基づく新役員の選出を行ないました。この理事選出基準（略称）を提案する前に既存の規約と規定との整合性、さらには現在運用されない指導員認定規定の廃止、会議運営規定に基づく議長の議案と記事日程の通知など、また条文の文言の改訂などいくつか、私のほうから問題点を指摘しました。救助要請規定や編成規定が現状に合うものかどうか、連盟の山行規定はリーダー養成学校等の実習山行で二重基準になっていないかどうかなど、私が理事長在職中に担当部へ検討するよう要請していましたが手付かずのまま5年を経過しています。県連盟の組織の在り方は目的の追求と実現にふさわしいものでなくてはなりません。また規約規定は対外的な県労山の姿を示すものゆえあいまいであったり、外面だけがよいものであってはなりません。こうしたことは規約、規定をそのままにしておくとも必ず組織の前進、逆に停滞した時に矛盾が発生することです。また目標を明確にしてこれに臨んでも、時間の経過とともに会員の基本的な合意が得にくくなる場合もあります。しかし、規約は運営のノウハウを決めるものではなく、会員の権利と義務、目的実現にふさわしい組織体制、役員の選出と財政、問題の発生に対する組織の対処などいずれも組織の基本を明示するものです。先の総会では規約

規定の全面見直しが時間の関係からできなかつたため、総会の席上、常任理事会の討議を前提に次回理事会で規約規定の扱いを決めたいと回答しました。このことにより9月の理事会で改正案とその理由を発議し、討議の結果、3月の理事会＝臨時総会に提案＝上程することになります。もちろんこの間には理事のみならず会での討議、案に対する疑問と意見の提出を行なうものです。来年の3月に改正、改廃の必要がないとの決議であれば、現行の規約規定を尊重して履行することになります。一部改正、改廃であっても規約の扱いは総会でこれを決めることになります。現在、県連盟の規約と規定の全文を知るものは私一人となりました。総会、理事会、事故の反省会などのおり、各理事と会宛てに印刷して何回も配布していますが、理事が変わるとそのまま会、新任理事に引き継がれていないため、県連盟の規約と規定を知らないというのが現状です。昨年来、理事の選出に関する議論から規定を配布してきました。改めて規約規定を熟読のうえ改正・改廃の必要があるとの意見を提出するものです。

以上

添付 神奈川県勤労者山岳連盟規約と規定、なお改正箇所について不明であれば中山の意見をお知らせします。

必要があれば申し出てください。

日本勤労者山岳連盟 青年学生委員会主催 沢登り講習会

日程 2009年6月26日(土) 前夜発日帰り
 集合 6月25日(金) 21時 小田急線渋谷駅北口ロータリーのオリジン前
 場所 西丹沢/小川谷廊下 状況によりルートを変更することもあります
 装備 ハーネス、ヘルメット、濡れてもよい登山衣類、着替え、沢靴、
 沢用のソックス・スパッツ、下山用の運動靴、大きめのビニール袋、
 寝袋(前泊用)、行動食、飲料 揃わないものはご連絡ください。
 申込先 日本勤労者山岳連盟 担当:川嶋 TEL 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324
 Email jwaf@jwaf.jp 当日緊急連絡先 090-1663-8890(後藤)
 申込書(別紙)を上記のいずれかに連絡又は送付ください。
 費用 学生・・・無料 学生以外の方・・・1,000円
 氏名 所属(団体・学校名) 生年月日(西暦) 性別 携帯等連絡先 加入山岳保険(保険会社・内容)

第24回、 谷川岳クリーンフェスティバル2010案内

日本を代表する山、谷川岳の山をきれいにする活動にあなたも参加してみませんか？
山と同時にあなたの心も益々きれいになりますよ！！

主催 群馬県勤労者山岳連盟

日時 7月4日(日) コースによってスタート時間が異なります。閉会식을午後3時30分から本部前で行ないます。それまでに各コースとも帰着してください。

コース

1. 天神平周辺(自然観察しながらです)
2. 沢めぐり(自然観察しながらです)
3. 天神尾根から谷川岳山頂往復(ロープウェイ利用)
4. 西黒尾根から谷川岳山頂へ(下山はロープウェイ利用も可能)

5. 巖剛新道から谷川岳山頂へ(下山はロープウェイ利用も可能)
6. 白毛門往復(健脚向きです)
7. 自主的にコース設定も可能(例えば達峠越え、国境稜線縦走など)

参加者特典

1. ロープウェイの料金が割引になります。
2. 町営温泉、協賛旅館の入浴料金が割引になります。
3. 駐車料金(本部前駐車場)が無料になります。但、実行委員会本部で受付を済ませ、それぞれの券を受け取らないと有効にはなりません。

前夜祭 7月3日(土)、午後5時から
町営駐車場(慰霊碑の上)本部で、交流会を兼ねて行ないます。大勢の参加をお待ちしています。参加費無料(差し入れ大歓迎)

申込は 各会担当者へ
問合せその他：群馬県勤労者山岳連盟、事務局まで
rousan.660821gunma@jwaf.jp

野辺山・救急救護講習のお誘い

救急法基礎講習
救急法救急員養成講習
救急救護実践講習

日赤、消防の救急法講習会は、いろいろな場所で開催され誰でも参加できますが、その講習多くは救急車やAEDの設置された、山に比べれば非常に救急救護の環境のいい場所を想定されたものであると思います。山ではAEDはありませんし電話してもすぐに救急隊は来ません。あるのは自分自身の救急知識と背負った装備だけです。山での救急救護を目的とした講習会は多くありませんが大村道雄さんは野辺山の民宿で山の救急救護を目的に長年開催してきました。ところが参加者の減少でここ2年ほどは講習会はやっていませんでした。先日お手紙をだしたところ「人数がそろえば」の条件で前向きに開催を検討しただけのことになりました。3泊4日の泊がけの日程、土日を含んで平日までかかるので、会社務めの人にはなかなか参加しづらいと思いますが参加希望方は今井まで連絡をお願いします。下記の文章にも書いてありますが人数

が少ない場合は開催しませんのでその点は了解をお願いします

実施時期：2010年10月30日(土)から
11月2日(火)：3泊4日

講師：山岳救急救護法研究会 大村道雄
場所：野辺山・りんどう民宿

参加費用：3万8千円(滞在期間中の宿泊・食事込み)

実施条件：最低参加者数10名(9月末までに10名が確保されていること)(実施するか否かは6月末までに判断し結論だす。よって今井が関係する参加者を6月中旬までに知らせ必要がある)

希望者は6月15日までに今井まで連絡をお願いします。今井がまとめ大村様に連絡します。

締切：6月15日(火)所属会名、名前、連絡先を知らせてください

募集人数：10名(先着順)

開催判断は大村様によるので開催有無の連絡が入りしたい応募者へ連絡します

まとめ役：やま++(やまぷらぷら)

今井勝仁 携帯：090-3081-6371(19~21時)
katsu_imai@nifty.com

神奈川から静岡へ・平和と登山の願いを込めて

2010.5.19 会長 中山建生

2010年5月19日、労山の願いを込めて、今日が神奈川から静岡への引継ぎの日です。湯河原に静岡の仲間が待っていてくれました。今年は核兵器廃絶の会議がニューヨークで開かれ、行進に参加をした多くの人たちは生々しい感動をもつての参加でした。毎年行進の先頭には被爆者が、広島、長崎まで元気に歩く人たちが、神奈川の全日程を参加した人たちの日焼けした顔を見ることができました。労山がかかげた平和でこそ登山という思いは、戦争はあらゆる意味で人間や自然の破壊でしかなく、穏やかな生活や日々の喜びを奪うものでしかないという体験から、山岳団体としての平和に関する基本姿勢を打ち出しました。とりわけ今日の世界にある核兵器の存在は人類の皆殺しの兵器です。日本は唯一の被爆国で毎年広島、長崎では戦争が再び起きることのないようにと決意を示しています。戦争への危険は沖縄の米軍基地の移転の問題でも国民の関心呼び、基地の撤去、安全保障条約の抜本的な見直しをと怒りが伝わってきます。この平和行進は今年で53回を向かえました。私は川崎での受け取り、静岡への引継ぎに何回も参加をしてきましたが、もっと多くの国民、登山者にも平和への関心と、戦争を起こさせないための活動に加わってほしいと思います。今はだれも緊迫した環境の中で登山をしていないためなかなか行動につながらないのだと思いますが、神奈川県は沖縄につぐ米軍の基地があります。横須賀、厚木、相模原などの近くに住む人たちは日常的に暴力や犯罪、騒音、町の再開発などの障害に悩まされています。こうした状態が続くといつのまにかこれが当たり前で怒りも失っていきます。さて登山がなぜ平和でなくては実現しないのかはすぐに分かると思います。電子技術や偵察衛星の登

場は監視や情報の把握を一新してしまいました。しかし、山や海は自然の要害となり侵入の目標物となり、平時の訓練には欠かせないのです。かつての戦時下では山に登ればスパイと見做され身柄は拘束されました。町の様子や基地の様子が分かるからです。現に米軍は厚木と横須賀で着艦訓練をずっと続けています。赤城山では自衛隊か米軍の低空飛行が問題とされました。横須賀では原子炉からの排水が艦外に持ち出されました。私たちの知らないうちに何が起きているのかよほど注意をしないと分かりません。広島、長崎まで行進をする2人の人が紹介され、ひとりの女性は「神奈川でいろんなことを知りました。今日から静岡の・・・」あとは涙声となり「元気でいきます」としか言えませんでした。思わず目頭が熱くなりました。労山の旗が雨に濡れ重たくなっていました。乾かす余裕がないのが気になりました。昨年濡れて重かったからです。ノートには「ひとりで濡れた旗を担ぐ、淋しかった」との太田君の言葉を思い出したからです。平和の願いがひとつでも具体的な形になり生まれ変わることを願っています。静岡の仲間引継ぎをしました。



鷹取山でのロープワークを経験して (リーダー学校実技)

2010.5.16 三浦昭男(川崎ハイキングクラブ)

今まで「歩きだけ」をやってきた者が、講習とは云え、初めてハーネスとヘルメットを装着し、ロープやカラビナを使って岩場にとりつく気持ちとはどんなものか。それは、初めてジェットコースターに乗ったときのワクワク感に多少の不安が入り混じる期待感に似ているのである。私は徐々にこの感覚を味わってしまったのだ。時間の余裕がでてきたので、これからは山行をたくさんしたいという思いからハイキングクラブに入会し、早くも1年が経とうとしている。まさか、還暦を越えた今になって、ロープを使うことになるとは。周囲の薦めもあり、リーダー学校に入校したことがものすごく得した気分であらう。

まず、今回の講習場所については事前情報を得ていなかったため現地入りしてから驚かされた。横須賀の喧騒なこの地に、岩山と深い緑があるとは思ってもよらなかったのである。昔、石切場であったと聞き、肌むき出しの垂直な壁がところどころにあるのがうなずける。それにしてもその肌全体にあるハーケンの跡がいかに多いのやると、これまでにたくさん

のクライマーを育ててきたことを物語っているのが感慨深い。

最初に挑戦する壁は高さ5m程度でこの山では一番低い方だが、未経験者としては圧倒される。受講者が保護具を装着している間に、講師がロープを設営して上から数本垂らした。壁の隅の方にロープなしで上に行けるルートがあるので上がってみると、そのロープが他のロープや木々などに無駄なく支持されているのが目を見張り、これが技術なのだと考えさせられた。

さて、自分とロープを接続する段階では、困ったことに、10日前に机上講習でやったロープの結び方がうる覚えで正確にできないのである。ここでは日ごろの練習がいかに大切なものかと思い知らされた。この壁のザイル確保での登りはまずまずの成果を得た。

二番目の壁はもう少し高さがあり、傾斜は垂直に近いのでもっと圧倒された。ザイル確保での登りは何回挑戦しても途中までしか登れなかったのが残念でならない。

足を使わず、懸垂力と握力むき出しで登ろうとするのが駄目なのだそうである。

セルフビレーしながらの下降では、最初の1歩目が後ろに倒れる動作のため、若干の恐怖を感じたものの講師の確保を信頼しているせいか難なく行動に移すことができ、楽しく

降りることができた。この実技で腕の筋肉痛が数日間続いたことは言うまでもない。

これから予定されている実技にも未経験の部分がたくさんあり、今から楽しみにしている。受講者および講師陣のみなさん、今後ともよろしくお願い致します。



県連交流山行/佐渡島

5月7日(金)24時出発～9日(日)

横浜HC 8名・みずなら4名・緑星4名・川崎HC 12名

- 1日目：晴天に恵まれ佐渡汽船さんの現地ガイドで、ドンデン高原から北に伸びる支尾根「間峰」まで、こぶのアップダウンを繰り返し残雪の中を順調に歩きました。特に今年は雪解けが遅く雪割り草はじめ多くの種類の花を楽しむ事ができました。
- 2日目：妙見古参道の一部ズリ場、天狗の休み場は国見平野、小佐渡を日本海で挟み展望が良く、遠くは能登半島まで望む事ができ、払川沿いにはシラネアオイの群生も見

られ花街道を満喫し、落差30mのダイナミックな黒滝を見る事ができ、両津港では乗船ぎりぎりまで沢山のお土産を買い込んで帰路につきました。



第5回クリーンハイク実行委員会報告

日時 2010.5.10(月)19時～21時
出席者 高橋・萩原(藤沢山の会) 関根・伊藤(横浜HC) 鈴木・大用(川崎HC) 千葉・須山(みずなら山の会) 磯部・小林(地平線) 三上・渡辺(こぶし) 永井(カモの会) 渡辺・若澤(相模AC) 黒井(雪童) 森谷(小田原ナール) 早坂(山ブキの会) 吉崎・海輪(柴笛) 栗田(山++)

13の会21名が集まり各会のクリーンハイクのコース、参加者の人数、リーダー名、連絡先等一覧表に、記入したが、殆どのがコース以外については、未定で決まり次第メールで、担当者に連絡する

救助隊より 今回から海輪、若澤両氏が参加、当日の体制は11名で、編成し各地点に配属し担当するが具体的には、最終実行委員会で説明をする。救助隊以外に、各会の中で無線を持っている人は、協力して欲しい、丹沢山、不動尻コースは、無線従事者を1人同行するようにして欲しい

水質調査について小林氏より 以前は大腸菌群であったが、数年前から大腸菌のみの調査をしている丹沢の環境は、悪化し汚染は増えている傾向で今後も継続していく必要がある 担当会に水質調査容器配布

第6回クリーンハイク実行委員会報告

日時 2010.5.24(月)19時～21時
出席者 高橋・萩原・角田・渡辺(藤沢山の会) 関根・伊藤・増田(横浜HC) 千葉・中山(みずなら) 鈴木・大用・岩佐(川崎HC) 磯部(地平線) 三上(こぶし) 永井(カモの会) 黒井(雪童) 森谷(小田原ナ) 早坂(山ブキ) 渡辺・若澤・田村(相模AC) 吉崎・海輪(柴笛) 栗田(山++) 望月(川崎労山) 市川(横浜AC) 北野(緑星)

クリーンハイク最終打ち合わせには16の会より27名の参加者で、クリーンハイク当日流れの確認と意思統一をしました。救助隊より救助隊人員配置の役割任務、各会の無線担当者の役割説明 一般者参加者における事故時の対応は、基本マニュアル文を、各会リーダーに当日、間に合うように、作成 不動尻コースについて

5の会、28名が参加予定、大型ゴミの放棄業者判明、ゴミ現状については、伊勢原市長まで、話しが進んでいる、缶や瓶等を拾い回収は厚木市が行う、当日はミーティングをしてから出発

記録(大用)

5月 事務局長会議の報告

2010.5.12(火) 7:20~8:30

出席者：小池(川崎労山) 伊藤(川崎HC) 砂原(柴笛)
神谷(AC横浜) 丸尾(横浜HC) 南雲(こぶし) 中河
原(藤沢) 蝦名(相模AC) 末吉(みずなら) 横田(雪
童) 栗田(やま++) 小島(おるた!)

理事等：海輪(救助隊) 蝦名(財政) 三上(機関誌)
西川(事務局部員)：司会記録

【1】県連からの報告

5/30(日)のクリーンハイクについて、三上理事から報告。

「山の会おるた!」連盟加入(5月号p3・p11)

- ・ 第27期リーダー-学校の受講生を中心に設立。5/1から県連に加盟。小島泰生事務局長から挨拶有り。

- ・ 仮称「山の会フレッチ」を改め、「山の会おるた!」と決定。「変化する」と言う意味。

- ・ 昨日、第1回総会開催。会員4名(男性3名、女性1名) 皆様、宜しくお願い致します。

事務局長会議の開催時間について：会議を出るだけ短時間で集中してやりたいと考えています。

7時15分から8時30分として、6月から2回ほど実施してみる。

6月の事務局長会議に、本日配布しました資料(県連規約等 中山会長が準備)をご持参下さい。

【2】各会からの報告(怪我・トラブル等 報告)

相模A Cの椎谷氏が海外登山中に、高山病になり下山する。

相模A Cの2名が赤岳の東陵で、岩がはがれ6~7m滑落した。本人は怪我をしている事に気づかず下山し、翌日医者に行き腕の骨折を知る。腰も打撲していた。

やま++の会員が鍋倉山(乗鞍付近)に行った報告：本格的な山岳会とツアーのパーティが一緒だった。会員は雪に詳しく、慎重な人で、現場は表層雪崩が起こりそうな所だったが、2つのパーティは平気で登って行った。余分な事は言えないのでそのまま帰って来た。

<特集>【救助隊について】海輪 利昭 隊長

先ずゴールデンウイークの特徴ですが、4月が寒かった。ゴールデンウイークに入る前から平年並みか平年以上になったので、雪の質が心配だった。

ゴールデンウイークの一週間前に涸沢に入った友人(ヒュッテの小屋開けの手伝い)の話：本谷橋から雪渓を上がって行くと、例年は左右から、主に右からのデブリ有る。又ヒュッテの上にも沢山のデブリが有るんですが、今年はデブリが無いとの話しがありました。デブリが無いと言う事は稜線上に雪が

相当残っている事になる。ヒュッテとしてもゴールデンウイークを迎えるにあたって、通常より一ヶ月遅い雪崩の発生が起こるのではと心配している。

救助隊については、アルパイン系の会の方には、救助隊の中で活躍して戴いていますので、親しみが有ると思いますが、ハイキング系の方には、何だろうそれはとか、或いは有るのは知っているけど・・・と言うところかと思えます。数年前までは、組織上「遭対部」の中に位置づけされていました。

「遭対部」は、事故が起きない様に山の情報を提供するとか、安全講習をするとか、県連会員の方々に啓蒙していく部署です。「救助隊」は、発生してしまった事故に対応していく部署です。私は、関谷隊長の時から隊員として活動しています。関谷隊長の後が大河内さん(故人)、熊谷さん、そして私と続いています。

- ・ 救助隊と言うのは、町中の消防署と同じで、地域で火災やその他の救助関係で活動する。その町には有るんだけど、活動しない事が一番良いんですね。救助隊も有るんだけど、出番が無かったと言う事が一番良いことです。

- ・ 実際に出動したのは、10年位前に冬の北アルプスに出動しています。ほぼ同じ頃、丹沢の沢の事故が有りましたが、この時は組織的な救助隊の編成には至らず、公的救助で搬出されました。それから比較的新しい所では(4年ほど前)、こぶしの会の関係で死亡事故が有り捜索活動をしました。

- ・ 救助隊の存在自体についても、救助隊の総会の中でも話し合ってみただけど、例えば神奈川県の中でも「岳連」は組織的なレスキューは全くやっていない。と言う事を間接的に聞いている。「労山」の方でも、全国での救助隊集会と言うものが有りますが、「チームレスキュー」に各都道府県が軒並み力を入れているかと言うと、そうでもない所も有ります。同じ「レスキュー」でも、「セルフレスキュー」は、例えば、尾根歩きで足首(片足)をひどい捻挫をおこして、自力で歩行が出来なくなった。3人パーティーの内元気な2人で何が出来るか。この様にパーティー内で行うレスキューを「セルフレスキュー」と言う。

- ・ それに反して我々救助隊がやっているのが「チームレスキュー」です。隊員の編成をして作業手順を決めて、使う道具も大きなものになる。ここに有るスケッドストレッチャー(簡易担架)は3年前に購入。ロープに関して、通常はダイナミックロープと言って伸縮性が有るロープを使いますが、救助活動ではスタティックロープと言って逆に伸縮性がないロープを使います。それは人を引き上げたりするとき、伸縮が有るロープと言うのは相当な伸びが生じてしまいますので活動がしづらいので特徴のあるロープを使います。

・ 先程救助隊は消防署だと言いましたが、消防隊員は出番がないからと言って消防車の運転の仕方や消防車についている色々な装置の使い方、或いは人の救助の仕方などそれさえも何のトレーニングもしないでいたら本当に実際に火事があったら、実際に捜索や搬出をしなければいけない時に消防署の人は役に立たない事になる。

・ 救助の根幹は「公的救助」で有る事は間違いありません。特に北・中央・南アルプス或いは八ヶ岳などについては、技術的にも研鑽を積んだ警察は組織力等も有りますから、特に遠隔地である場合こちらから出発しても現地に着く頃には相当な程度まで捜索等が進んでいると思います。その様な時は二次的な或いは下支え的な活動が中心になるだろうと思います。ただ神奈川は丹沢と奥多摩を持っています。その両地域においては、特に早期の出勤、早期の捜索活動を行う事により、人命ないしはその後遺症の程度がかなり変化してくる事は紛れもない事実です。

・ 例えば、日曜日丹沢の沢登りに行った場合。丹沢の沢はあまり長い沢は無いので、夕方までに担当者に下山連絡がない。夜まで待っても無いし、家族の方にも何の連絡も入っていない。そうなるのであれば、これはおかしいとなる。1日おいて月曜日になってからスタートするのと、具体的な活動は現地までの移動位で終わってしまいます。そうすると火曜日入山となる。日曜日に事故を起こしている当事者からすると48時間位経ってしまう事になる。これは絶対に事故に相違ないと言う事であれば、警察に登山ルートを話し、事故が無かったかを確認し、家族の意向を確認して「捜索願」を出すことになるでしょう。出した後、警察が救助隊の編成をしたりしているよりも、我々の方が早く動けますから、同じ沢を基本的に最初からトレースして行きますので、そういう中で発見が出来た場合には、かなり事故者のダメージを軽減出来るのではないかと。そこからの搬出をどうするか。搬出の訓練をしているから救助隊が搬出しなければいけない。そんな事はないんですから。搬出の最大の武器はヘリコプターですから、ヘリがピックアップし易い所までどういうふうに移動するか。

・ 搬出の時は多くの無線を使って、途中で中継車をもおけて、警察もしくはこの横浜本部に現地の情報を送って新たな指示を求める。その負傷者の状態とピックアップし易い所はどこなのか。と言う処迄が詰めれば搬出は相当早期に出来る。これを目指して、今年は7月に岩場ないし沢での捜索と搬出を訓練として行います。

・ 秋には岩場にける「セルフレスキュー」の講習会を開催します。一昨年は丹沢のモミソ岩、20数名の参加の内大半が会員でした。その前もモミソで同じくらいの参加者でした。昨秋は鷹取で2日間行い、延べ人数で100名の参加が有りました。「セルフ

レスキュー」に関して相当な需要が有りますので、今年もおそらく大きなものになると思います。

・ 1月に積雪期での捜索と搬出訓練。捜索については、全国の中でも神奈川が1つの技術要素を取り入れたものとしてGPSとパソコンを使った捜索をここ数年やっている。捜索も捜索班毎にGPSを持たせませす。当然無線も持ちます。本部ではその捜索地の地図をパソコン上に出して、捜索班からの連絡、北緯度、東経度をポイントでパソコン上に埋めていきます。これがGPSを使わないと、ひょっとすると同じ所をぐるぐる回っているかも知れない。線から面の捜索が出来る。関東ブロックで(一都六県)合同で訓練していますが、神奈川が一番詳しい。

・ 登録している隊員数は去年61名。訓練の中で参加者は去年の丹沢での捜索・搬出で27名程度。冬の搬出で7名参加。この訓練をやるために年に6回程運営会と言うミーティングをこの事務所で開催していますが、ミーティングに参加してくれる人が少ないんです。でも頼もしいと思っているのは、訓練になるとさっき言いました様に20数名が集まってくれる事です。

・ 数年前横浜のこの事務所を本部にして、丹沢に現地本部を作り捜索・搬出を展開した事が有ります。救助の訓練は山の中で、ロープを出してスケットストレッチャーを出して、負傷者を梱包して、上げたり下げたりして、車の入れる所まで運ぶ。それは現地の1つの仕事であって、そのほかに多くの仕事があるわけですね。事故者のご家族への対応、マスコミへの対応等がある。現地本部とこの横浜本部の活動も非常に大切です。是非ともハイキング会の方も救助隊に登録してご自分の出来る事をして欲しい。模造紙に、現地本部からの連絡の状況や、こちらからの現地本部への指示とか情報提供についてとかを、模造紙に時系列的に書き込んでいく。実際に事故があった場合この事務所は大変なんです。救助隊は殆ど会社員ですから、しかも事故は土日起こりますから、月曜日から週の半分くらいを、いきなり休める人はそんなにいないんです。その中で、頑張ってるやりますよと現地に行ってくれる人がいますが、1泊2日長くても2泊3泊で交代する必要がある有ります。第2次で山に入れる人が何人いるか。第3次で山に入れる人が何人いるかを電話連絡して埋めていく。そのトレーニングを1度やったんですが、途絶えてしまった事が大変申し訳ないと考えています。そういう事もまた機会を作ってやらなきゃいけないでしょう。

・ 岩以外通常のハイキングや縦走とかと言う所で事故が発生した場合のセルフレスキューと言うのも救助隊の方でも、いろんな講習会に出て研鑽をして県連の方にもおろしていく様な方向性を持ちたいなと考えています。

・ 隊員の中には救助活動と言う事に関して関心を持って入ったと言う事よりも、ロープワークであるとか、登攀に使うデバイスなどの器具について学びたいと言う事に入って来ている人もいます。私は、それはそれで良いですよとお話をしています。

<質問> GPSについて話しが出ましたが、マウンテンバイクにサイクルコンピュータが有りますね。色々調べましたらガーミン社のGPSで、腕時計式で2万円強で有るんですね。山で使用出来るのであれば、希望者に教える事が出来ますか。

<海輪氏> 救助隊のGPSの使い方は、緯度・経度を本部に知らせるだけです。それをもって本部がパソコン上にプロットしていく。A班B班C班D班の動きがどうなっているか、そしてそれを全部線で繋いで行きます。そうする事によって、線の搜索ではなく、面の搜索に広げて行く事が出来ます。僕のはガーミン(GARMIN)の一番安いやつですから、緯度・経度は出ますが、地図が入るタイプではありません。ヘリコプターもジャイロ(コンパス)で飛んでいますので緯度・経度が判りますので、遭難者の場所・事故地点を知らせるのに、北緯何度何分何秒、東経何度何分何秒 そこに位置していますと言えば一発です。そういう時GPSは役立ちますね。

<質問> プロトレックス(36,000円位)より安い機種が出ていて、使ってみると進んでいく方向が出てくれて距離が出てきます。10m迄です。安いのでこれから使う人が増えて来るのではと思います。

<海輪氏> 取り付き点とかで道標の無い所などが有るので、三角法でやるのが基本で有るけど、特徴となるポイントが無いときも有り、GPSで位置を確認する事は必要な事です。

<質問> マイナーを歩くとき、当初はみんな持って行ったんですが、GPSを持って行くと緊張感が無くなる。と言うんですね。いざと言う時はそれを見れば今どこにいるか判るので、持って行かなくなりました。持って行っても、歩いているときは見ないで、歩き終わってからどうゆうルートを歩いたかを赤線で引けるのでおもしろい。歩いているときは見ない

様にしています。それが本当の使い方かどうか別ですけど。

<海輪氏> そういう使い方も良いですね。冬で視界が悪い時雪の中で、八方尾根で吹雪いたり、濃霧になると、晴れているときはなだらかな尾根で良いねとなるけど、なだらかな尾根程恐いわけですから、そういった時には自分達の位置、自分達が進むべき方向を確認するには(GPSが)必要と思います。

<質問> 携帯のGPS機能で、遭難した人を見つけてもらえるとか？

<海輪氏> 携帯が「自立型」のGPSは少ないんです。僕は去年買い替えた時ドコモには「自立型」がなかった。一般の携帯のGPSは、基地局へ飛ばしている。そこで計算したデータをもらって受けているので、電波の届かない所ではその機能が無い。自分で衛星を捕まえて計算する「自立型」も有りますが、その時はドコモには無かった。圏外になったら使えませんので、勘違いしない様にして下さい。

<質問> 「下山連絡時刻」について県連として統一しなくてもいいのでしょうか。

<海輪氏> 川崎柴笛の場合昔は遅かった。22時と書く者がいた。現在は20時がタイムリミットになっている。あとは山行によって夕方には下山出来ると言うのは、18時とか17時と申請者にまかせている。ただタイムリミットは20時としている。

< > 相模ACの場合は20時で印刷している。

<質問> 20時だとその日は動けませんよね。

<海輪氏> 会では20時になる前にこちらから連絡する場合があります。

< > うちも20時タイムリミットです。

< > ちは18時になっています。それでもただの対応が出来るか不安になっている。うちの会は自力で出来る状況では無いので、全面的にお願いするのに、そんな遅い時間にお願出来るのかなあと思っています。事故が起きない様に注意したいと思います。

有り難うございました。時間になりましたので、次に移りたいと思います。



季節の花300より

6 月度常任理事会

5月31日 19:15～21:00

出席 中山、田村、増田、池上、蝦名、大用、三上

欠席 後藤、海輪

配付資料 「神奈川県勤労者山岳連盟規約(2010.4)」
 「規約の改正または廃止の条項と理由」
 「山岳会及びリーダーの役割と責任とは何か」
 「富士山での滑落事故と高層気象から」
 「神奈川県連盟から会員に徴収される金額と種類」
 「政治的混迷から脱出・登山の未来を切り開くために」
 「2号議案・個人会員制度についての意見」
 「神奈川県連盟員(会員)の権利と義務について」
 「全国連盟が提案した『個人会員制』とは」
 「全国組織担当者会議」の報告文書
 「第32期(上期)県連理事・役員名簿」
 「連盟ニュース6月号(305)の記事」
 「第33回 2010丹沢クリーンハイク清掃集計表」

規約について 県連の個人会員制と全国連盟の個人会員制の違いの説明。

規約を集中審議するため、臨時理事会の開催を決める。8月31日(火)、場所の設定。

事務局 理事、各事務局長、会代表の名簿作成中。事務局長会議のお知らせをメーリングリストで流す。
 理事会開催の場所を探索中。

機関連 連盟ニュース6月号(305)の記事の中身を説明する。

自然保護委員会 雨天中止を受けて、不動尻コースを秋に取り組む。

保険との関係で責任の所在が明確でない。安全山行に必要な取り組みをすること。事故発生の場合の対処、処置の仕方。保険の掛け金について。

財政 現在の緊急資金積立金の変更も考える必要があるのか。

全国組織担当者会議の報告 個人会員制度についての中味で報告を受ける。

文責:三上

平成22年度安全登山普及指導者中央研修会

登山者の指導的立場にある人を対象として、チームの実力にあった目標と計画を立案し、安全な登山を実践できる知識と技術の習得をめざす。

【期日】2010年7月2日(金)～4日(日)

【内容】「登はん技術研修コース」と「読図・プランニング研修コース」

どちらかを各自の希望で選択。

国立登山研修所より全国連盟に労山の各地方連盟に要項と申込書類を送付するとの通知がありました。

【場所】富山県の国立登山研修所とその周辺

【参加費】6,900円(宿泊費、研修所での食費6食分、写真代)と傷害保険料 行動食は各自。

【募集人数】25名(各コース合計)

【締切】2010年6月16日(水)必着

申し込み等の詳細は各地方連盟又は下記。

・独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所 076-482-1212

・国立登山研修所ホームページ 登山研修案内 主催事業

<http://naash.go.jp/tozanken/>

(ナマステより)

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎勤労者山岳会

報告：小池 秀子 計41名（男26 女15）平均 歳

| | | | |
|---------------------|--------------------------|----------------------|--------------------|
| 4/24 奥高尾(1) | 大倉尾根(8+1) | 滝山北壁(1+1) | 5/3-5 白馬岳(5) |
| 4/24 丹沢・大山(1+2) | 4/29 三ツ峠・岩(2) | 5/1-3 小川山(2+1) | 5/15-16 岳沢～西穂(1+3) |
| 4/24-25 三ツ峠(1+3) | 縦走(1) | 5/3-4 奥多摩・長沢背稜(2) | 5/22 三ツ峠・岩(5) |
| 4/24-25 塔ノ岳～鍋割(3+4) | 4/30-5/2 北アルプス・北穂東稜(1+2) | 5/3-4 奥秩父・乾徳山・黒金山(1) | 5/22 奥高尾(1) |
| 4/25 丹沢・源次郎沢～ | 5/1-2 四国・剣山系 | | |

川崎ハイキングクラブ

報告：川上勝夫 計107名（男55 女52）平均62歳

| | | |
|-------------------------|---------------------------|-------------------|
| 4/17-18 外秩父七峰縦走/秩父(8) | 5/1-5 剣山-三嶺縦走/四国(7) | 6/12-14 二王子岳/新潟 |
| 4/18 御岳・鍋割山/奥多摩(6) | 5/2 百蔵山 扇山/中央線沿線(10) | 6/13 大菩薩峠/中央線沿線 |
| 4/18 陣場山/高尾(12) | 5/2-5 会津駒ヶ岳 遂ヶ岳/尾瀬(4) | 6/19 水無川/丹沢 |
| 4/18 念仏山・高取山/丹沢(7) | 5/7-9 佐渡島/新潟(12) | 6/20 丹沢懸垂岩/丹沢 |
| 4/20 三頭山/奥多摩(6) | 5/9 高水三山/奥多摩(19) | 6/23 北高尾山稜/中央線沿線 |
| 4/24-25 大菩薩/小金沢連嶺(2) | 5/7-9 赤岳鉱泉/八ヶ岳(4) | 6/27 定期総会 |
| 4/25 大山/丹沢(2) | 5/14-25 インカ道トレッキング/ペルー(1) | 7/2-4 蔵王山/東北 |
| 4/29-5/5 奥秩父主稜/奥秩父(2) | 5/15-16 塩原自然研究路/塩原(8) | 7/4 城ヶ島/三浦半島 |
| 4/29 高水三山/奥多摩(2) | 予定 | 7/11 丸山/奥武蔵 |
| 4/29-5/2 奥秩父主脈縦走/奥秩父(3) | 6/5-6 武尊山/群馬 | 7/24-27 大日岳/北アルプス |
| 4/30-5/5 四国遍路/阿波の国(5) | 6/6 雷電山/青梅 | |

川崎柴笛クラブ

報告：砂原浩二 計32名（男19 女13）平均48歳

| | | | | |
|---------------------|--------------------|------------------------|--------------------|---------------------|
| 4/30-5/2 白山(4) | ス(2) | 5/15 丹沢(1) | 5/21-22 立山～剣 | 5/29 大山(1) |
| 4/30-5/2 唐松 五竜(1+1) | 5/3 白馬乗鞍山スキー(1+1) | 5/16 湯河原幕岩(1+1) | 沢山スキー(1+9) | 5/29 愛鷹山(1) |
| 5/1-3 不帰1峰尾根(3) | 5/8 武蔵五日市・浅間峠(1+1) | 5/15-16 雲取山(1) | 5/22 山寺(1) | 5/29-30 尾瀬ヶ原(1+1) |
| 5/1-4 笠取山-瑞牆山(1) | 5/8 面白山+山寺(1) | 5/16 高尾山(1) | 5/22 水無川本谷(1+1) | 5/29 幽ノ沢正面フェース(2) |
| 5/1-4 北鎌尾根(4) | 5/8 二子山と両神山(1) | 5/16 道志村トレイルレース(3+1) | 5/22-23 燕岳(1+6) | 5/30 山寺(1) |
| 5/2-3 那須岳(1) | 5/9 檜洞丸(2+2) | 5/16 浜石岳(1+5) | 5/23 棒の折山(3) | 5/30 奥多摩トレイルラン(2+1) |
| 5/3-5 甲武信ヶ岳(1+1) | 5/10-11 丹沢(2) | 5/16 瑞ガキ山(4) | 5/25 妙義山(1) | 5/30 三ノ塔(1) |
| 5/4 越沢バットレ | 5/15 三ツ峠(4) | 5/18 丹沢(2) | 5/26 十二ヶ岳・鬼ヶ岳(2+1) | 5/30 クリーンハイ |
| | | 5/21-23 和名倉山・飛龍権現(1+1) | 5/28-29 十枚山-山伏山(1) | ク(3) |

アルパインクラブ横浜

報告＝岸 直哉 計38名（男23：女15）平均 歳

| | | | |
|-----------------------|------------------|------------------|------------------|
| 5/1 仙元山(1+1) | 5/1-5 雪倉朝日山(3) | 5/8 佐久湯川(2+1) | 5/22 伊豆城山(10) |
| 5/1 岩櫃山(1) | 5/2 谷川岳西黒尾根(2) | 5/9 高尾山・三頭山(2) | 5/25 丹沢・大山川(1+1) |
| 5/1-3 五竜岳・唐松岳(2) | 5/2-4 剣沢・御山谷(2) | 5/10 雁ガ腹摺山(1) | 5/26-27 雲取山(1) |
| 5/1-4 槍ヶ岳北鎌尾根(1+2) | 5/4-5 蛙が丸・菰釣山(1) | 5/13 大山(1) | 5/28 金峰山(1+1) |
| 5/1-5 利尻山・西壁左リッジ(1+2) | 5/5 伊豆城山(2) | 5/16 塔が岳(2) | |
| | 5/6 榛名山(1+3) | 5/16 湯河原幕岩(2+21) | |
| | 5/8 雲取山(1) | 5/19 塔ノ岳(1) | |

横浜ハイキングクラブ

報告＝丸尾真知子 計58名（男24：女34）平均62歳

| | | |
|----------------------|---------------------|----------------------|
| 5/13 室内例会(45) | 5/29 丹沢/水質検査(県5) | 5/8 弘法山下見(2) |
| 5/1 尾白川溪谷(12) | 5/30 丹沢クリーンハイク(県9) | 5/8-9 濁沢・テト泊(1) |
| 5/9 九鬼山(11) | (以下個人山行) | 5/8-9 鳳凰山・テト泊(2) |
| 5/16 塔ノ岳トレーニング山行(26) | 5/1 三ノ塔～塔ノ岳下見(3) | 5/18 塔ノ岳(1) |
| 5/23 檜洞丸(中止) | 5/1-2 蛙が丸(7) | 5/22 檜洞丸(4) |
| 5/7-9 佐渡島(県9+28) | 5/3 塔ノ岳(4) | 5/22-23 八ヶ岳/赤岳テト泊(3) |
| 5/8-9 日和田山(県1+) | 5/4 表丹沢三廻部下見、塔ノ岳(6) | 5/28 箱根/神山(4) |
| 5/16 湯河原・幕岩(県1+25) | 5/5 六国見山(2) | 6/17 室内例会 |
| 5/16 鷹取山(県3+8) | 5/6 西丹沢/屏風岩山(2) | 6/6 弘法山 |

6/13 鎌倉天園

| 6/20 湯の丸山～烏帽子岳(バ)刈 | 6/27 熱海・岩戸山～日金山

事故や怪我の報告

- (1) 2010.5.1 14:00頃 甲斐駒ヶ岳山麓・尾白川渓谷: 60歳台女性 下山途中で頭上の倒木に頭をぶつけて転倒 突発性狭容症による神経異常(腰と両足に痺れ)、5/15現在通院治療中 労山新特別基金交付申請
- (2) 2010.5.23 赤岳から赤岳山荘駐車場に向かって下山中、70歳台男性 浮石でバランスを崩し転倒、左手を5針縫うけが、基金申請せず
- (3) 2010.5.9 12:00頃 県連主催佐渡島、60歳台女性 黒滝を見学に滝まで下る途中大きなツルが垂れ下がっているところを通過するときにツルが目にあたり、白目に傷、基金申請せず

横浜こぶしの会

報告=田辺美由紀 計23名(男15人 女8人) 平均54歳

5/2-4 白神山地(3)

5/15 大室山(3)

6/4-6 ハケ岳(3)

5/3 塔の岳、丹沢山、三峰(4+1)

5/23 岩トレ(広沢寺)中止

6/12 檜洞丸

5/3-5 鳥海山(1+9)

5/30 クリーンハイク(7)

7/3-4 岩手山

藤沢山の会

報告=中河原昭夫 計90名(男44:女46) 平均64歳

5/2-4 鹿島槍(9)

5/16 会刈・天城山(3)

6/16 座学・沢登り

5/4-5 日光白根山(4)

5/17 入会説明会(2)

5/30 県連刈・ツル刈(16)

6/19-20 実技バケ山行・愛鷹山

5/7-9 佐渡山行(25)

5/19 座学・岩登り(15)

6/2 運営委員会

5/11 機関誌「稜線」印刷・発行

5/23 実技・岩登り(雨天中止)

6/8 機関誌「稜線」印刷・発行

6/23 室内例会(講座:地図とGPS)

5/12 室内例会(43)

5/26 室内例会(28)

6/9 室内例会

6/27 実技沢登り・モミン沢

5/15 会刈:岩殿山(21)

5/29 水質調査(勘七の沢)

6/12 会刈・奥武蔵

小田原ナーゲル山の会

報告=中島健一 計30名(男19:女11) 平均 歳

5/5 塔ノ岳(2)

5/22 三つ峠岩トレ(2)

ク(16)

6/27 沢講習会・マスキ嵐沢

5/8 木ノ又小屋ポッカ(2)

5/22 檜洞丸(1)

6/5 小川山岩トレ(3)

6/19 一の倉沢南稜(2)

5/8 山伏(3)

5/23 三つ峠岩トレ(2)

6/12 広沢寺岩トレ(3)

7/14 例会

5/9 塔ノ岳開山祭がっ(3)

5/26 八つ・阿弥陀岳(1)

6/13 リーダ-学校読図(2)

7/22 運営委員会

5/15 塔ノ岳(3)

5/27 運営委員会(7)

予定

7/11 会山行・八つ西岳

5/16 伊豆・猫越岳(3)

5/29 木ノ又小屋がっ(1)

6/9 例会

5/16 暮岩 リーダ-学校(1)

5/30 丹沢クリーンハイ

6/24 運営委員会

相模アルパインクラブ

報告:水村和也 計36名(男24:女12) 平均52歳

4/25-26 中里の岩場(1)

ンザ洞沢-彦右衛門谷(2)

5/9 西丹沢～大倉(1)

5/22 丹沢三峰(1)

4/29 暮岩(2)

5/14-15 古賀志(2)

5/22-23 鈴鹿山脈(2)

5/2 岩木山(1)

4/30-5/4 燕-常念岳-蝶ヶ岳(2)

5/15-16 湯川(2)

5/21-23 白馬岳(2)

4/28-5/2 比叡の岩場(2)

4/30-5/5 穂高岳 岳沢(1)

5/16 暮岩(5)

5/22-23 山犬段 高塚山(3)

5/2 湯川(2)

5/2-5 妙義山 小川山(1)

5/15-16 大丹波川支流

5/22-23 小川山(2)

5/2 大山(1)

5/5 丹沢主稜(1)

真名井沢-蕎麦粒山-県

5/22-23 湯川 小川山(2)

5/1-3 蝶ヶ岳(1)

5/8 城山(2)

界尾根-棒ノ折山下(2)

5/22-23 湯川 小川山(2)

5/2-3 燕岳(1)

5/8 城山(2)

5/16 広沢寺(2)

予定3/31-5/2 シシャパンマ(1)

5/2-3 丹沢神之川-金山谷-檜洞沢 玄倉川-ザ

5/8-9 湯川(2)

5/16 大山(1)

6/20 総会

5/9 広沢寺(1)

5/17 北川(1)

みすなら山の会

報告:末吉悦子 計36名(男24 女12) 平均58歳

5/12 例会(17)

寿岳～南東尾根(9)

5/29 クリーンハイク前

6/5-6 小川山(1+他)

5/13-14 弥太郎山・小野岳(3)

5/22-23 白馬大雪渓(3)

夜祭・見晴小屋(3)

6/5 谷川一ノ倉沢烏帽子

5/15-16 谷川岳衝立雲稜(1+1)

5/22 二子山西岳中央稜(8)

5/30 クリーンハイク(13)

奥壁南陵(4)

5/15 袈裟丸山(2)

5/29 丹沢・新大日～塔ノ岳(4)

6/2 木の又小屋～オバケ

6/5 GPS講習会(机上)

5/15 広沢寺(4)

5/29 源次郎沢・水質検査(4)

6/2 木の又小屋～塔ノ岳

6/6 御前ヶ遊窟(5)

5/15 神楽スキー(2)

5/29 クリーンハイク・水質検査(1)

～大倉(1)

6/9 例会

5/16 越沢バットレス(6)

5/29 クリーンハイク・水質検査(1)

6/3 広沢寺(3)

6/19 マスキ嵐沢

5/16 丹沢キュウハ沢～

5/29 クリーンハイク・水質検査(1)

6/3 日和田山(3+3)

6/27 越沢バットレス

6/5-6 甲斐駒・千丈(1)

7/10 小川山廊下

7/14 例会

やま ++

報告: 栗田 彰 計14+1名(男11:女4) 平均50歳

| | | | |
|------------------|-----------------------|-------------------|-------------|
| 5/3-4 雲取山(4+3) | ミマイナー(3) | 6/6 戸隠山 | 6/20 十石山 |
| 5/12 勉強会(ロープワーク) | 5/22-23 会津・七ヶ岳・荒海山(3) | 6/9 勉強会(気象) | 6/23 例会 |
| 5/16 RCT(9) | 5/26 例会 | 6/12-13 鬼石沢、モロクボ沢 | 6/26-27 皇海山 |
| 5/22 横尾山~飯盛山セ | 5/30 山行検討会 | 6/19 十文字峠 | |

山ブキの会

報告: 青柳 計7名(男:女7) 平均64歳

| | | | |
|----------------|--------------|---------------------------|-------------------|
| 4/4 秩父 野生福寿草観察 | 4/19 高尾山 | 5/4 高水三山 | 6/6 千頭星山(新婦人らくらく) |
| 4/6 石砂山 | 4/25 塔の岳 | 5/9-21 プ・タン チョモラリBCトレッキング | 6/12-13 甲武信岳 |
| 4/11 箱根 明神ヶ岳 | 4/25 高尾山 | 5/30 クリ-ンハイク | 6/18-19 雲取山 |
| | 4/29 岩殿 稚児落し | | |

登山時報 6月号 目次

| | |
|----------------------------------|--|
| 自転車で100名山 圓尾勝彦 03 | |
| 雪解けの尾瀬に 野口義夫 08 | |
| 会員外へも出勤 埼玉県連救助隊 直撃インタビュー 16 | |
| 武庫川ダム 建設中止を勝ち取るまで 村上悦朗 18 | |
| 小槍の上でアルペン踊りを 三津野真澄 20 | |
| 草創期を語る 寺川庄蔵さん 西村高行 22 | |
| 会長退任にあたって 守屋益男 14 | |
| 創立50周年記念行事 15 | |
| メタボ編集長 熟年体育大学“奮闘記” 後藤功一 24 | |
| 野鳥との出会い アカハラ 小枝琢三 福井壽彦 06 | |
| 連載 クイズ 地図読み迷人村越真 宮内佐季子 07 | |
| シグナル 斉藤義孝 13 | |
| 自主共済の適用除外のたたかい、大きな節目に | |
| 山で気になるカンキョーの話 菊地敏之 25 | |
| 連載 碧い南の島だより 雨宮節 26 | |
| JWAFクリック 28 / 全国連盟の活動 31 | |
| 専門委員会活動報告 32 / 編集後記 34 | |
| インタビュー ひと 鈴木保明さん 田上千俊 35 | |
| 地元会員特選ミニガイド 埼玉・白岩/石川友好 | |
| / 高知・寒風山/森田南海男 36 | |
| ブックエンド 『世界のとっぺんに立った!』他 安田 治 他 38 | |
| 会報えつらん室 記念誌・年報編 橋口晴彦 40 | |
| オススメ山道具 スマートウールのソックス 笹原芳樹 42 | |

**寄せられた機関誌、電子ニュース**

- 東京都勤労者山岳連盟「都連盟ニュース」 293 (2010.5.28)
 岡山県勤労者山岳連盟「労山おかやま」 347 (2010.5.1)
 千葉県勤労者山岳連盟「ちばニュース」 205 (2010.5.10) 電子版
 ナマステ(こんにちは)メールニュース 2010.5.26 Vol.12

「ちばニュース」は、理事の方々に電子版で配信されています。

「都連盟ニュース」は、機関誌が郵送されてきています。県連事務所にファイルされています。

また、都連盟のHP上で閲覧できます。

「労山おかやま」は、機関誌が郵送されてきています。県連事務所にファイルされています。

また、PDFに変換して理事の方々に電子版で配信しています。

神奈川県連のスケジュール

| 6月 | | | 7月 | | | 8月 | | |
|----|---|------------------------|----|---|-----------------|----|---|-----------------|
| 1 | 火 | | 1 | 木 | | 1 | 日 | |
| 2 | 水 | 登山リーダー養成学校机上講習 | 2 | 金 | | 2 | 月 | 常任理事会 |
| 3 | 木 | | 3 | 土 | 救助隊搬出訓練 | 3 | 火 | |
| 4 | 金 | | 4 | 日 | 救助隊搬出訓練 | 4 | 水 | 登山リーダー養成学校机上講習 |
| 5 | 土 | H Cリーダー学校実技講習 | 5 | 月 | 常任理事会 | 5 | 木 | |
| 6 | 日 | H Cリーダー学校実技講習 | 6 | 火 | | 6 | 金 | |
| 7 | 月 | クリーンハイク反省会 連盟news印刷 | 7 | 水 | 登山リーダー養成学校机上講習 | 7 | 土 | |
| 8 | 火 | 事務局長会議/連盟news発行 | 8 | 木 | | 8 | 日 | H Cリーダー学校実技講習 |
| 9 | 水 | | 9 | 金 | | 9 | 月 | 連盟news印刷 |
| 10 | 木 | | 10 | 土 | | 10 | 火 | 事務局長会議/連盟news発行 |
| 11 | 金 | | 11 | 日 | 登山リーダー養成学校実技講習 | 11 | 水 | |
| 12 | 土 | | 12 | 月 | 連盟news印刷 | 12 | 木 | |
| 13 | 日 | 登山リーダー養成学校実技講習 | 13 | 火 | 事務局長会議/連盟news発行 | 13 | 金 | |
| 14 | 月 | | 14 | 水 | | 14 | 土 | |
| 15 | 火 | | 15 | 木 | H Cリーダー学校机上講習 | 15 | 日 | |
| 16 | 水 | | 16 | 金 | | 16 | 月 | |
| 17 | 木 | H Cリーダー学校机上講習 事務局部会 | 17 | 土 | | 17 | 火 | |
| 18 | 金 | | 18 | 日 | | 18 | 水 | 事務局部会 |
| 19 | 土 | | 19 | 月 | | 19 | 木 | |
| 20 | 日 | | 20 | 火 | | 20 | 金 | |
| 21 | 月 | | 21 | 水 | | 21 | 土 | 登山リーダー養成学校実技講習 |
| 22 | 火 | | 22 | 木 | 事務局部会 | 22 | 日 | 登山リーダー養成学校実技講習 |
| 23 | 水 | | 23 | 金 | | 23 | 月 | |
| 24 | 木 | | 24 | 土 | | 24 | 火 | |
| 25 | 金 | | 25 | 日 | | 25 | 水 | |
| 26 | 土 | | 26 | 月 | 自然保護委員会 | 26 | 木 | |
| 27 | 日 | | 27 | 火 | | 27 | 金 | |
| 28 | 月 | 自然保護委員会 | 28 | 水 | | 28 | 土 | |
| 29 | 火 | | 29 | 木 | | 29 | 日 | |
| 30 | 水 | | 30 | 金 | | 30 | 月 | 自然保護委員会 |
| | | | 31 | 土 | | 31 | 火 | |

2010年度の全国的な規模の集会・会議予定

| | |
|-----------------------|------------------------|
| 全国女性担当者会議 | 6月26日～27日（東京・全国連盟事務所） |
| 青年学生沢登り教室 | 6月26日（神奈川・丹沢） |
| 中央登山学校・指導者セミナー | 7月（東京・全国事務所） |
| 平成22年度安全登山普及指導者中央研修会 | 7月2日（金）～4日（日） |
| 第24回谷川クリーンフェスティバル2010 | 7月4日（日） |
| 創立50周年記念行事 | |
| 記念トレッキング | 6月（ブータン氷河湖を巡る調査） |
| 全国ハイキングリーダー学校 | 9月18～20日（東日本） |
| MFAインストラクター養成講座 | 秋 |
| 全国遭難対策担当者会議 | 10月2日～3日（東京・全国事務所） |
| 野辺山・救急救護講習のお誘い | 10月30日（土）～11月2日（火）3泊4日 |